

5 月号

ひだまり

わかくさこども園



2024.5.1



苗を買いに行こう

(2024.4.30)



園庭に植える、野菜の苗を買いに行こう。

ほしいのは、「とうもろこし」「すいか」「きゅうり」「にんじん」。

スーパーマスタの近くにある、苗屋さんへ。

「とうもろこし」と「にんじん」の苗はなかったので、代わりに種を買いました。



5月の予定

【幼稚園休園】

1日（水）、22日（水）

【幼稚園午前保育】

2日（木）

14日（火）親子ピクニック（ももはな・ふじ）

15日（水）親子ふれあいday（こむぎ）

16日（木）親子ふれあいday（ゆずは）

22日（水）バス遠足（みそら）

23日（木）避難訓練

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



はじめてのこども園

まだ5月というのに、汗ばむほどの暑い日も出てきた今日このごろ。園庭の木々や草花も春らしく、青々と茂ってくれて、虫たちもたくさん遊びに来てくれるようになりました。

今年も保育園、幼稚園ともに、たくさんの新しい子どもたちを迎えてスタートした新学期。初めは緊張していた子たちも、少しずつですが笑顔を見せてくれるようになりました。

天気の良い日は園庭に出て、みんなで一緒に遊ぶのですが、お兄さんお姉さんたちも新しい仲間を気にかけてくれていて、優しく手を引いて園庭での遊び方を教えてくれる、そんな頼もしい一面を見せてくれています。



アリの巣がいっぱいある場所を教えてください

(巻末の「ふおとこーなー」にて、4月の子どもたちの様子をご紹介します！)

1日の中で、長い時間を過ごすこども園。好きな場所や遊びと出会い、一緒に遊びたいと思える友だちを作って、園に来るのが楽しみになってくれたら嬉しいです。

ものづくりのコツ

4月のある日、みそらの部屋では「紙粘土制作」が行われていました。この日、制作のサポートに入ってくれたのは、今年度からわかくさに不定期で来てくださることになった「ちっち先生」。(ちっち先生については先月号のお知らせをご覧ください)。子どもたちのリクエストで、今回は「お皿」を作ることにしました。

まずは、ちっち先生から子どもたちに向けて、お皿についてのお話がありました。お皿は、何かを入れるためのものだから、「深さ」があることが大切。まず最初にお皿を持ち上げるための土台を作り、その土台の上でお皿を作ると深さを出しやすいと、ちっち先生は教えてくれました。



話が終わると、早速お皿作りがスタート。まずは、土台作りです。粘土の一部をちぎってへびみたいに細長くし、両端をつなげて丸の形にしたら、あっという間に土台は完成。上に載せるお皿用の粘土は、あらかじめ叩いて平べったく伸ばしておきます。



そこまでできたら準備はOK。ここから先は、子どもたちの自由です。お皿の形をハートや星、貝にしたり、お皿につける好きな飾りをつくったり。どんなものを作ったらいいか悩む子は、ちっち先生の見本や友だちの作っているものを見て、自分がいいなと思うものを真似しながら進めます。

およそ1時間弱の時間でしたが、自分が納得のいくまで作る子もいて、集中して取り組むことができる姿は、さすが年長さんです。

ものづくりを楽しむために、知っているといいことがあります。それは、「作る物にどんな特徴があるのか」と「作り方のコツ」です。お皿は物を入れるために深さがあるのが特徴ですが、柔らかい粘土で深さを出すの

は、意外と難しい。けれど、中が空洞になった土台（支え）の上で作れば、子どもたちでも深さが出しやすくなります。

この土台は、お皿には直接的に必要なものですが、お皿を作るためのちょっとした“近道（コツ）”であり、それを知ることによって「これなら自分にもできるかも」という向かう気持ちが生まれます。子どもたちはその上に、自分なりの想像力や独創性を加えながら、ものづくり中で自分なりの表現を楽しみ、「もっとやってみたい！」の気持ちを大きくしていきます。

そうやってできていく子どもたちの作品は、大人には思いつかないような表現もたくさんちりばめられていて、いつ見ても、やっぱり面白いなあと思うのです。

紙粘土がしっかり乾いたら、次は絵の具で色付けをし、完成させるようです。どんなお皿になるのか、楽しみ楽しみ。



保健だより

新年度が始まって1ヶ月、新しい環境にも少しずつ慣れ、園で楽しく過ごす姿もみられるようになりました。一方で、春は疲れが出たり連休で生活が乱れたり、体調を崩しやすい時期でもあります。身体を休められる時はしっかり休み、規則正しい生活を心がけましょう。

○胃腸炎が流行しています

近隣の学校等で胃腸炎が流行しており、4月は園でも下痢でお休みする子もみられました。秋から冬にかけての流行が多い胃腸炎ですが、それ以外の季節でも流行する可能性はあります。

子どもは下痢で水分を失いやすいため、水分補給が大切です。水分は、水や麦茶、小児用のイオン飲料、野菜スープ、少し薄めた味噌汁の上澄みなどを少しずつゆっくりと与えます。うどん、豆腐、白身魚、鶏肉、お粥、スープ、バナナ、りんご、煮野菜などの消化のよいものを与え、脂っこいものや甘いお菓子、ジュース、牛乳や乳製品、柑橘系の果物は避けましょう。



* うんちは健康のバロメーター *

排便リズムは人によって様々ですが、定期的に排便できるよう、規則正しい生活を心がけましょう！

【バナナうんち】黄色がかった茶色で、においの少ない健康的なうんち

【コロコロうんち】水分・野菜不足、運動不足で便秘気味

【水っぽいうんち】食べ過ぎ、冷たいものの飲みすぎ、体調不良



○下痢・嘔吐時、以下の症状があれば登園を控えてください

- ・24時間以内に2回以上の水様便や嘔吐がある
- ・下痢や嘔吐に伴い、発熱がある
- ・下痢や嘔吐に伴い、食欲がない
- ・食事や水分を摂ると下痢がある

○こんな症状は病院へ

- ・下痢が続き、嘔吐を繰り返す
- ・高熱があり、激しくお腹を痛がる
- ・赤・黒・白色の便が出た
- ・脱水を起こしている（水分をうけつけない、目がくぼんでいる、唇が乾いているなど）



看護師・藤井 佑季



5月 保健の予定

20日（月）	ももはな	身体測定
21日（火）	こむぎ	身体測定
22日（水）	ゆずは	身体測定
23日（木）	ふじ・みそら	身体測定

わかさこども園

wakakusa kodomoen